【新二年生用】　古文単語330三訂版　Ｐ２０４～Ｐ２１１

［Ａ］次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1　つきづきし
①わずらわしい　②似つかわしい　③すがすがしい　④目新しい　1〔　　〕

2　しどけなし
①無造作だ　②残念だ　③薄情だ　④器用だ　2〔　　〕

3　つたなし
①意地が悪い　②関係がない　③劣っている　④不本意だ　3〔　　〕

4　めやすし
①ふさわしい　②目安となる　③見苦しくない　④いさぎよい　4〔　　〕

5　なつかし
①みずみずしい　②頼もしい　③かわいらしい　④好ましい　5〔　　〕

［Ｂ］次の文の（訳）の〔　　〕に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

6　上達部・上人などもあいなく目をそばめつつ、いとまばゆき人の御おぼえなり。（源氏物語）
（訳）公卿や殿上人なども苦々しく目をそらしては、とても〔　　〕ほどの（桐壺の更衣に対する帝の）ご寵愛である。
①近づけない　②信じられない　③言葉にできない　④見ていられない　6〔　　〕

7　祭のころは、なべていまめかしう見ゆるにやあらむ。（堤中納言物語）
（訳）祭のころは、すべて〔　　〕見えるのであろうか。
①いまいましく　②華やかに　③楽しく　④今風に　7〔　　〕

8　世もいまだ静まり候はねば、しどけなき事もぞ候ふとて、御迎へに参つて候ふ。（平家物語）
（訳）世の中もまだ平穏になっていませんので、〔　　〕事があると困ると思って、お迎えに参上しました。
①つまらない　②どうしようもない　③おかしな　④乱れた　8〔　　〕

9　小少将の君は、そこはかとなくあてになまめかしう、二月ばかりのしだり柳のさましたり。（紫式部日記）
（訳）小少将の君は、どことなく上品で〔　　〕、二月ごろの（芽ぶいたばかりの）しだれ柳のような風情をしている。
①優美で　②繊細で　③気だてがよくて　④色っぽくて　9〔　　〕

10　鶴は、いとこちたきさまなれど、鳴く声、雲居まで聞こゆる、いとめでたし。（枕草子）
（訳）鶴は、とても〔　　〕姿であるけれども、鳴く声が、天上まで聞こえるのは、とてもすばらしい。
①珍しい　②仰々しい　③苦々しい　④神々しい　10〔　　〕

11　今ぞ心やすく黄泉路もまかるべき。（大鏡）
（訳）今は〔　　〕あの世にも旅立てるだろう。
①安心して　②薄情に　③すっきりして　④簡単に　11〔　　〕

12　ただこれ天にして、汝が性のつたなきを泣け。（野ざらし紀行）
（訳）（捨て子よ、親に捨てられたのは）ただ天命であって、おまえの宿命が〔　　〕ことを泣きなさい。
①不自然な　②数奇な　③不運な　④異様な　12〔　　〕

13　はづかしき人の、歌の本末問ひたるに、ふとおぼえたる、我ながらうれし。（枕草子）
（訳）（こちらが気後れするほど）〔　　〕人が、和歌の上の句・下の句を（私に）尋ねた際に、すっと思い出されたときは、われながらうれしい。
①高貴な　②立派な　③気の毒な　④神聖な　13〔　　〕

14　君は、思し怠る時の間もなく、心苦しくも恋しくも思し出づ。（源氏物語）
（訳）（源氏の）君は、お忘れになるわずかの時もなく、〔　　〕も恋しくも（空蝉のことを）思い出しなさる。
①おそれ多く　②気の毒に　③はかなく　④さびしく　14〔　　〕

15　乳母替へてむ。いとうしろめたし。（枕草子）
（訳）乳母を替えてしまおう。とても〔　　〕。
①窮屈だ　②心配だ　③不吉だ　④無愛想だ　15〔　　〕

解答

【新二年生用】古文単語330三訂版 P204～P211

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
②	①	③	③	④	④	②	④	①	②	①	③	②	②	②